

My 未来プロジェクト

今後、どんなことができるか、どんなことがしたいか。My未来プロジェクトを考え、発表し合いました。



私は“子ども食堂の横浜市の認可をもらう！”っていうプロジェクトを考えたよ。大体の内容は、現在行っている子ども食堂の経営が火の車のため横浜市に協力してもらい、もっと支店を増やすことだよ。巻き込みたい人は横浜市の職員、児童相談所、大学や大学院、神社、お寺の人かな。



私は“ABC's of English”っていうプロジェクトを考えたよ。大体の内容は、英語を日本の小中学生に教えることだよ。巻き込みたい人は英語を喋ることが出来る人（ボランティア）と英語を学びたい小中学生だよ。

座談会が進み、親睦を深めたところで、最後に参加者が自分のやりたいこと（My 未来プロジェクト）について考えて、それぞれ発表し合いました。



※写真は発表時の様子。発表内容と人物は一致していません。

私は、“To start off living in foreign countries”っていうプロジェクトを考えたよ。大体の内容は、日本に移住する外国人を支援したり、あらゆる人種がいるコミュニティを作り、どんな人が来たとしてもお互いに支えあうことが出来るようにするプロジェクトにしたいな。日本語講座をしたり、おすすめの店を紹介したり、相談相手などができる場所にしたいな。巻き込みたい人は日本に住む外国人と日本に住もうと考えている外国人だよ。



とについて考えること少ないので、貴重な体験になりました。石黒さんの実行力にも驚きましたが、自分にもできるかもしれない気がつくことができました。話し合ったことをもとに若い世代だからこそスピード感で、一つひとつ夢を叶えていきたいです。（利知）●このイベントを通して、自身の人生をどのように過ごしたかを見返すことができ、素晴らしい機会でした。私たちに、過去の人生経験を良い悪いに関係なく見返し、考える機会を与えてくれました。私にとって一番楽しかったのは、私たち自身が夢のプロジェクトを作成し、それをどうにかして社会に貢献させることができないかを考え、発表し合えたことです。（ケイト）●「中高生ミライ計画部@めぐろ」は何を聞いてどんなことをするのか少し疑問に思いつながら参加しました。班に分かれて自分の人生や好きなことについて話したり、他の人のことを聞いたり、とても楽しい時間や、石黒さんの人生の話を聞いてすごいなと思いました。自分でいろいろ考える時間がありました。一番最後に今自分がやってみたいことをどのようにして実現するか、考えて書きました。難しかったけれど、10代の今だからできることって無限にあるんだなと思いました。今回学んだことを忘れずにいたいです。（唯英菜）●初めての参加でした。とても楽しかった、今は思います。僕は「めぐろう」にはまだ入ってからやっと半年を少し過ぎたくらいだから、部活の先輩以外はほとんど顔を知りませんでした。だから、はっきり言うと今回のこのイベントはとても不安でした。しかし、いざイベントを行なう会場に行つてみると、大学生や高校生の先輩方が色々と分からぬことを教えてくださいました。そのおかげか、自分のやりたいことを見つけ出すことができ、最後には楽しく締めくくることができました。今回のイベントは自分の趣味と将来を改めて考えられたいい機会だったと思いました。（容道）●今回参加をするには、はっきり言うと少し戸惑いがありました。なぜなら、座談会というと苦しいイメージがあったからです。しかし、実際に行ってみるとそんなことはなく、楽しんでお話をすることが出来ました。また、これに参加したことによって今までとは違う考え方をできるようになりました。これから先、もし今回教えていただいたような活動を見かけたら、積極的に参加していきたいと思います。（寛友）